

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら昭島たなか教室

保護者等数(児童数) 40 回収数

割合 40 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14件	2件	件	件	十分。教室は広い。	喚起よく環境作り配慮。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14件	2件	件	件	専門である人と、 そうでない人がいる	教育や研修をし知識深める。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12件	3件	1件	件	十分適切。	引き続き環境整備に、 努めたい。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14件	2件	件	件		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15件	1件	件	件	様々なプログラムが展開 しております。	スタッフ全員で共有し 活動内容を改善。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4件	6件	6件	件	コロナだから仕方ない。	コロナ禍終息後検討。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16件	件	件	件	丁寧な説明がある。	引き続き取り組む。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16件	件	件	件		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16件	件	件	件		お聴き取りを実施していく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3件	5件	7件	件	交流できたらうれしい。	コロナ禍終息後検討。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13件	2件	件	1件		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12件	4件	件	件		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9件	5件	1件	件	情報をもっとほしい。	発信機能を改善したい。 HP、インスタグラム等。
	14 個人情報に十分注意しているか	15件	件	件	1件		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12件	4件	件	件		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7件	7件	2件	件	訓練は定期的に行われ ている。	引き続き継続支援します。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	16件	件	件	件		
	18 事業所の支援に満足しているか	15件	1件	件	件	特性や個性を理解してい る。	これからも改善していきたい。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 20日

事業所名 こばんはうすさくら昭島たなか教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	15件	件		
	2 職員の配置数は適切である	15件	件		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	件	17件		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	件	件		理解にばらつきがある。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	15件	件	実施している	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	15件	件	本部HPIにて好評している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	件	10件		
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	15件	件		社内研修はやっている。外部研修を取り入れるいろいろな人の意見を聞いた方が良い。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	15件	件		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	15件	件		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	15件	件		全体で会議を行い様々な視点から意見が出るようにしている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	15件	件		全体で会議を行い様々な視点から意見が出るようにしている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	15件	件		以前よりは細やかにできてきた。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	15件	件		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	15件	件		朝礼は長い時で20分程度。上記以外は事前に話をしている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	15件	件		終礼時に報告会
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	15件	件		
関係機関や保護者	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	15件	件		短期に関しては数個は達成できるので、見直しは比較的やっている。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	15件	件		
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	15件	件		
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	15件	件		もう少し徹底したい。職員によってバラつきがあり、対応に自由度がみられる。初心にかえる必要性あり。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	件	15件		今のところ、お断りになる。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7件	7件		情報共有を実施し連携していく。
24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	件	15件			

百との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	件	15件		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	件	13件		今後実施につなげていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	件	15件		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7件	件		送迎時に可能な限りお話をしている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	10件	5件		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	15件	件		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	15件	件		送迎時よくお話を聞くので大きな悩み以外はそ場でお答えします。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	15件	件		希望者が少なかつたのでしていません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	15件	件		日頃から先回りに対応しアンテナは常にはっていますが、苦情がきた場合は児発管が対応。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	15件	件		
	35	個人情報に十分注意している	15件	件	ファイル管理等注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	15件	件		日頃から徹底はしているが、職員によりバラついている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7件	件		
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	15件	件	
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	15件	件		
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	15件	件		虐待は何度も話し、教室も起こりにくい雰囲気を作っている。
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	件	15件		
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	15件	件		
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	15件	件		朝礼、終礼で共有し他人事にならないようにしている。